感染症対応マニュアル			
	予防期 地域での発生を認めていない状況	発生期 地域で発生しており、 患者への入院勧告が行われている状況	流行期 地域で流行しており、 患者への入院勧告が行われない状況
時期の定義	感染者の報告はあるが、いずれも流行状況は限定的であると考えられる状況	接触歴のない患者の報告が増加しており、自分達の利用者やスタッフまでは及んでいないが、周囲では流行が始まっていると考えられる状況。	地域で感染拡大が進んでおり、確定患者に対する入院措置 できなくなっている状況 利用者やスタッフ、家族にも日常的に感染などが起こっている
事業所の 感染対策	・手洗い、うがい、マスク、換気など標準予防策	・手洗い、うがい、マスクなど標準予防策 ・飛沫感染のリスクについては2点喚起を常に行う ・飛沫感染リスクにおいては会話時はマスクを必須 ・飛沫感染リスクが高い場合においては集合を極力行わない。行う場合も距離や換気をとって実施し、直行直帰を励行。 ・接触・飛沫感染リスクが高い場合は、作業スペースは可能なら2つにわけ、集団感染時にも半分が残るようにする ・空気感染リスクが高い場合においては、出社・集合を行わない	・手洗い、うがい、マスクなど標準予防策 ・飛沫感染のリスクについては2点喚起を常に行う ・飛沫感染リスクにおいては会話時はマスクを必須 ・飛沫感染リスクが高い場合においては集合を極力行わない。行う場合も距離や換気をとって実施し、直行直帰を励行。 ・接触・飛沫感染リスクが高い場合は、作業スペースは可能なら2つにわけ、集団感染時にも半分が残るようにする ・空気感染リスクが高い場合においては、出社・集合を行わない
PPE	・PPEなどの消耗品のローリングストックを十分に確認して行う。突発的な消費があっても保てる数で運用する・訪問時はスタンダードプリコーション・利用者がマスクをつけられない方の場合はフェイスシールドもしくはゴーグルを着用	・消耗品のローリングストックを十分に確認して行う。突発的な消費があっても保てる数で運用する ・利用者がマスクをつけられない方の場合はフェイスシールドもしくはゴーグルを着用 ・接触ケアがある場合はガウンを着用。 ・飛沫感染リスクは2点換気実施 ・接触感染リスクのある利用者は訪問を最終に回す ・接触感染リスクのある利用者はN95を着用する	・消耗品のローリングストックを十分に確認して行う。突発的な消費があっても保てる数で運用する・利用者がマスクをつけられない方の場合はフェイスシールドもしくはゴーグルを着用・接触ケアがある場合はガウンを着用。・飛沫感染リスクは2点換気実施・接触感染リスクのある利用者は訪問を最終に回す・接触感染リスクのある利用者はN95を着用する
スタッフの 役割分担	・陽性者・濃厚接触者に対応するスタッフについて話し合う。	・陽性者・濃厚接触者に対応するスタッフについて話し合う。 ・同居者や基礎疾患などの背景を鑑みて、対応者を考慮する	・陽性者・濃厚接触者に対応するスタッフについて話し合う。 ・特定の者に限らず全スタッフが対応することも視野にいれる
訪問の優先度	・感染リスク、また重症化リスクのある患者についてはケアの内容次第で訪問の有無を関係者と検討する・訪問看護の内容に関し引き算が可能であれば、できるだけ短時間の接触とする。 ・感染症そのものへのケアが必要であれば、感染対策のもと実施する	間の接触とする。	・感染リスク、また重症化リスクのある患者についてはケアの 内容次第で訪問の有無を関係者と検討する ・訪問看護の内容に関し引き算が可能であれば、できるだけ 短時間の接触とする。 ・感染症そのものへのケアが必要であれば、感染対策のもと 実施する
スタッフの 健康管理	・スタッフまたは同居者が体調不良時の報告、対応	・日常的な健康管理の方法、報告方法等 ・スタッフまたは同居者が体調不良時の報告、対応 ・就業制限 ・メンタルサポート ・感染者対応などは、特定の人物だけに偏らせず、期間を限定し回 す。終わりが見えないと疲弊するため	・日常的な健康管理の方法、報告方法等 ・スタッフまたは同居者が体調不良時の報告、対応 ・就業制限 ・メンタルサポート ・感染者対応などは、特定の人物だけに偏らせず、期間を限 定し回す。終わりが見えないと疲弊するため
スタッフの 勤務外行動制限	なし	・自治体やモデルとなる大手病院等が採用しているレベルに応じた 対応を明示	・自治体やモデルとなる大手病院等が採用しているレベルに 応じた対応を明示